

# 愛&ハート

♥あいハート須磨30年の歩み

♥あいハート須磨30年間のあゆみ(年表)

♥あいハート須磨職員メッセージ

♥外部メッセージ

♥おかげさまで30周年!

「感謝」と「結束」を胸に  
あいハート須磨記念事業イベントを開催

♥第4回法人内事例発表会の開催報告

2025 November

279号

30th

あいハート須磨  
30周年記念



# あいハート須磨30年の歩み

## 30周年記念式典 あいハート須磨開設

### はじめに

特別養護老人ホームあいハート須磨が、この地域に産声を上げてから30年が経ちました。今日まで温かいご支援を賜りました皆様に、心より感謝申し上げます。

この30年間、社会は大きな変革を遂げ、私たちを取り巻く環境も大きく変化してきました。高齢化率の上昇、介護保険制度の導入、地域包括ケアシステムの構築など、数々の波を乗り越え、今日まで歩み続けることができたのは、ひとえに利用者の皆様、ご家族、地域の皆様、関係機関の皆様との強い絆があつたからこそだと感じています。この道のりを深く感謝の念をもつて振り返ります。

### 1 施設の歴史と創設の想い

あいハート須磨（当時の名称・ハートふる須磨）は、阪神・淡路大震災から間もない1995年3月28日、地域の皆様が先の見えない不安を抱えていながら、しっかりと、産声を上げました。そうし



根木施設長 挨拶

た中、特別養護老人ホームとして誕生した当施設は、地域の高齢者の皆様にとって安心の拠点となることを目指しました。

開設当初は人員や設備が十分とは言えず、現場では日々試行錯誤の連続でした。それでも、「利用者お一人おひとりの暮らしに寄り添う」という揺るぎない信念を胸に、職員は一丸となつて取り組みました。限られた資源の中で、どうすれば少しでも安心できる生活を送つていただけるか——この問い合わせが、当施設の変わらぬ原点であります。

### 2 私たちが大切にする三つの介護方針

当施設が開設以来、変わらず大切にしている三つの介護方針があります。

#### ① 生活リハビリの実践

日常の営みを楽しみに変えることを大切にしています。食事・入浴・排泄といった日常生活の営みを楽しみとし、残存機能を活かすことを重視してきました。温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供



### 3 地域との豊かな交流

30年の歩みを語る上で、地域との豊かな交流は欠かせません。夏祭りや敬老会などの行事は、利用者やご家族に喜ばれるだけでなく、地域住民や学校との交流の場として大切な役割を果たしてきました。特に毎年恒例の夏祭りでは、屋台や盆踊りを通じて世代を超えた温かい交流が生まれ、当施設が地域に開かれた存在であることを改めて実感させて



工夫し、利用者が自ら立ち上がりやすい設計を行うなど、「できる力を引き出す」視点を重視してまいりました。

#### ② 自己選択とその人らしさの尊重

利用者が主体的に生活を営めるように支援しています。デイサービスでは書道や手芸といった多彩なプログラムから希望する活動を選び、「選択プログラム」を実施。それぞれの思いや意欲を取り組みました。職員のケアの根幹と

#### ③ 人権とプライバシーの尊重

個人の尊厳を守ることを最優先に、居室の環境整備や介護方法の改善を常に重ねてきました。これら三つの方針は、時代が移り変わってもなお、私たちの活動を支える揺るぎない大黒柱であります。

これまで、地元の保育園児との交流会をはじめ、中学生の職場体験、介護福祉士養成校等からの実習生受け入れなどを積極的に行い、地域での福祉人材の育成にも尽力してまいりました。

### 4 共に歩んできた皆さまとの絆

NTT労働組合をはじめとする多くの方々から、施設の運営面において継続的にご協力をいただいてまいりました。後援会に加え、夏祭りやボランティア活動では、直接利用者の皆様と触れ合っていただき、施設に温かい活気をもたらしてくださいました。地域住民の方々との日常的な交流もまた、施設運営の大きな支えとなっています。行事への参加やボランティア活動を通じて生まれる自然な関わりが、利用者の皆様の生活にかけがえのない豊かさをもたらしました。また、行政、学校、医療機関、各種団体との連携により、地域全体で高齢者を見守る体制が築かれてきました。



介護施設ではなく、「地域に根ざした福祉の拠点」として発展することができました。

そして、あいハート須磨で最も大切で、なくしてはならない存在であり、真の財産が、他ならぬ職員一人ひとりです。利用者に寄り添い、日々の暮らしを共合ってきた職員たちの揺るぎない姿勢が、この30年の歴史を築き上げてきました。彼らの専門性への探究心と、何より利用者様への温かい思いやりこそが、施設の根幹を支え、未来へと繋ぐ力そのものだと思っています。



## 5 近年の発展と新たな取り組み

近年の大きな出来事として、2022年に竣工したリユースアル工事がされました。特別養護老人ホームでは定員を20名増床し、4人部屋には間仕切りを設置してプライバシーを確保しました。デイサービスセンターも大規模改修を行い、浴室や脱衣室の改善によって利用者の皆様の快適さと職員の業務効率化を同時に実現しました。これらの取り組みは、「生活の場の提供」と「プライバシーの尊重」という、当施設の介護方針を具現化したものであつたといえます。

さらに「ノーリングケア」にも積極的に取り組んでいます。職員が人力で抱え上げるのではなく、福祉機器を効果的に活用しながら利用者の残存能力も引き出す介護手法であり、兵庫県知事からもモデル施設として認定されました。

職員と利用者双方に無理のない安楽な介護を実現するために今後も継続すると同時に、ICT機器の活用も進め、業務の効率化と負担軽減に努めて参ります。

## 6 職員の力と世代継承

先程もお伝えした通り、施設がどれほど拡充・整備されても、その中心にいるのは他ならぬ「職員」です。入居者の生活を支える介護職員、健康を見守る看護職員、食事を通じて心と体を支える栄養士や調理員、相談対応を行うケアマネジャー、そして事務スタッフなど、全ての力が集まつて、あいハート須磨の日常が成り立っています。



また、職員の世代交代も進んできました。創設期を知るベテランから新たに加わった若手へと、経験と理念が受け継がれています。介護の専門性を磨きながらも、「利用者の尊厳を守る」という文化が、30年の歴史を通じて大切に育まれてきました。人材育成にも力を注ぎ、研修や学び

の場を重ねながら、誰もが誇りを持って働く職場づくりを目指してまいりました。今後も「人財」を大切にし、誰もが誇りを持ち、やりがいを持って長く働き続けられる活発な職場づくりに努め、この大切なバトンを新しい世代へと繋いでまいります。

## 7 社会の変化と新たな課題

30年の間に、社会環境は大きく変わりました。介護保険制度の開始、地域包括ケアシステムの推進、そして少子高齢化の進行。私たちを取り巻く状況も複雑さを増しています。利用者の要介護度も年々高まり、医療ニーズを抱える方も増えています。そうした中で、医療との連携や感染症対策、ICTの活用など、新しい課題に応えていくことが求められています。

特に2019年から感染が広まった新型コロナウイルスの流行は、施設運営に大きな影響を与えました。「コロナ禍」という言葉が生まれ、面会制限や厳格な感染防止対策に追われる日々の中で、利用者様やご家族にどのように安心を届けられるかを、私たちは改めて深く考えさせられました。この経験もまた、次の歩みへの大きな学びとなりました。

## おわりに

今日まで30年という歳月を歩んでこられたのは、様々な立場の方々との出会いと協働があつたからです。利用者やご家族との日々の触れ合い、地域の皆様との自然な交流、行政や関係機関との連携、そして何より職員同士の絆――あいハート須磨があります。

あいハート須磨の30年は、決して平坦な道のりではありませんでした。しかし、その一歩一歩の積み重ねが、確かな歴史を築き上げてきました。

この30年の歴史を胸に、私たちはこれからも「安心と笑顔あふれる街づくり」を合言葉に、地域に必要とされ続ける施設であるよう、職員一同、全力を尽くしてまいります。

## 8 未来への展望

30周年は、決して「ゴールではなく、未来へと続く大切な通過点です。これから先の10年、20年に向けて、私たちが地域社会で担う役割は、さらに大きくなつていくことでしょう。地域の高齢者

が住み慣れた場所で安心して暮らし続けられるよう、在宅支援や地域連携の強化は欠かすことはできません。また、介護の現場ではICTやAIの導入による業務の効率化と、働く職員がやりがいを持ち長く続けられる職場づくりの両立が重要な課題です。

# あいハート須磨30年間のあゆみ(年表)

1998 平成10年		1997 平成9年		1996 平成8年		1995 平成7年		1991~1994 平成3~6年	
9月	4月	4月	10月	4月	7月	4月	1993	1991	
●居宅介護支援事業開始	●訪問介護事業、サテライト型デイサービス事業開始	●介護保険事業として兵庫県から事業指定	●ヘルパー派遣事業開始(神戸市から受託)	●在宅介護、研修・支援センター開設	●「愛&ハート」創刊	●ハートふる須磨開設(三月二十八日式典開催)	●ハートふる須磨起工式	●NTTと土地使用貸借契約(無償)締結 ●全電通労組による一〇五百円の建設資金カンパ活動開	●昭和六十年から検討してきた記念事業プロジェクトが「高齢者福祉センター」として、具体的な構想に着手



2011 平成23年		2010 平成22年		2009 平成21年		2008 平成20年		2007 平成19年		2006 平成18年	
10月								4月		4月	
●実施	●注力							●「あいハート須磨ヘルパーステーション」事業廃止	●新規事業開始に向けて神戸市遊休土地を入札するも競り負け断念	●神戸市より地域包括支援センターの運営を受託	●進路情報フォーラム参加(九州の高等学校の先生方との面談会)



2020 令和2年		2019 平成31年(令和元年)		2018 平成30年		2017 平成29年		2016 平成28年	
3月	2月	8月	10月					5月	
●新型コロナウイルス感染症拡大	●兵庫県地域サポート施設認定	●あいハート南町デイサービス事業廃止	●SNS(インスタグラム)の運用開始	●EPA(ベトナム人介護福祉士候補生第一期生二名受入)	●EPA(ベトナム人介護福祉士候補生第一期生二名受入)	●「つべらべ連絡網」による安否確認訓練の開始	●生きがいデイサービス事業の廃止	●EPA介護福祉士候補生の確保に向けた取組開始	●進路情報フォーラム参加(九州の高等学校の先生方との面談会)
●ハラスメント対策強化	●あいハート南町デイサービス事業廃止	●脳梗塞リハビリステーション神戸須磨を開設	●EPA(ベトナム人介護福祉士候補生第一期生二名受入)	●EPA(ベトナム人介護福祉士候補生第一期生二名受入)	●EPA(ベトナム人介護福祉士候補生第一期生二名受入)	●「つべらべ連絡網」による安否確認訓練の開始	●生きがいデイサービス事業の廃止	●EPA介護福祉士候補生の確保に向けた取組開始	●進路情報フォーラム参加(九州の高等学校の先生方との面談会)

2005 平成17年		2004 平成16年		2003 平成15年		2002 平成14年		2001 平成13年		2000 平成12年		1999 平成11年		
8月	4月			9月	4月	5月		4月	2月	10月		10月		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● AED (自動体外式除細動器) の設置</li> <li>● 開設十周年 感謝の集い</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国上海市電信工会訪日団が施設見学</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 須磨デイサービス 日曜日の営業スタート</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● あいハート須磨ご家族の会結成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 訪問介護事業所を 「あいハート須磨ヘルパーステーション」 へ名称変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「在宅介護を支える 介護実技教室」開催 (下山名月先生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 南町デイサービス開設</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ハートふる須磨」から「あいハート須磨」 へ名称変更</li> <li>● 施設ウェブサイト作成</li> <li>● 民主党の鳩山代表(当時)が あいハート須磨を見学</li> </ul>	

2015 平成27年		2014 平成26年		2013 平成25年		2012 平成24年	
		7月		4月		5月	
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 九州・沖縄の 福祉専門学校へ 訪問活動開始</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設ウェブサイトの更改</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員採用活動強化 (学校訪問など、アウトバウンド施策)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● あいハート離宮前 開設(五月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員向けメンタルヘルス相談サービス (福利厚生)開始</li> <li>● 業員向けメンタルヘルス相談サービス (福利厚生)開始</li> </ul>

2025 令和7年		2024 令和6年		2023 令和5年		2022 令和4年		2021 令和3年	
9月	4月	1月							
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 開設三十周年 記念式典</li> <li>● 次世代に向けた「新たな組織体制」の構築</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● エンゲージメントサーベイの実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 簡易陰圧装置(コロナ対策)の設置</li> <li>● 敷地が無償から有償へ契約変更</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 兵庫県ノーリフティングケアモードル施設 認定</li> <li>● 勤務シフト作成システム導入</li> <li>● 新人事・給与制度導入</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 増床、改築工事(特養五十床から七十床へ) ・ICT機器(見守りセンサーやリフト機器、 インカム等)の導入</li> </ul>	<p><b>法人設立五十周年</b></p>



あいハート須磨職員  
メッセージ

Message

■ 施設長 根木 浩司

あいハート須磨 30周年を迎えるにあたり、法人や施設の設立に込められた先人の想い、先輩方が築き上げてこられた経営・運営の礎、関係者の皆様によるご寄付と温かいボランティア活動によるご支援、現職員のたゆまぬ努力の偉大さを改めて実感いたしました。多くの方々に支えによってここまで歩んでこられたこと、心より感謝申し上げます。受け継いだ歴史と想いを絶やすことなく、これからも強い結束で未来へと歩みを進めてまいります。



■ 副施設長 仙波 剛

開設30周年を迎え、自身も同じ歴史を歩み勤続30年を迎えました。老人福祉を取り巻く環境も措置から介護保険制度に移行され大きな変化もありました。高齢者人口増がより一層加速する時代を迎える中、サービスの品質の維持と向上に取り組み、あいハート須磨を選んで頂ける施設であり続けられるよう取り組んで参ります。何よりも、あいハート須磨で働く職員が「ここで働きたい」と思って貰える環境作りにも取り組んで参りたいと思います。



■ 施設長 根木 浩司

■ 特養部門 主任補佐 佐々木 紅美

あいハート須磨が開設30周年を迎えたことと、感謝がござります。また、これまでの歴史、諸先輩方が培った経験を継承し、さらに経験を積み精進して参りたいと思います。



■ 特養部門 主任補佐 佐々木 紅美

■ 特養部門 主任補佐 佐々木 紅美



感謝祭を終えて

記念イベントの準備で気付いたのは、他部門との連携が上手く取れていて一体感を感じたことでした。30年という年月の中で積み重ねられてきたことの偉大さを改めて感じました。現在特養部門はとても厳しい状況であります。現状を乗り越え、感謝祭で見られた他部門の連携を特養内で実現できるよう職員や現場のマネジメントをしていきたいです。職員の定着に向けた取り組みを増やし、現状の職員が安心して働ける環境になるように主任補佐として今後も務めていきたいです。



■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹



■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

私はあいハート須磨に就職して6年目になりました。あいハート須磨では、上司や同僚の方々が常に私の意見に寄り添ってくれくださることや、様々なことに挑戦させてください、未熟だった私がここまで成長することができました。特に、習字の特技や師範の資格を活かす為に、「書道教室」を設けて下さり、自身のモチベーションに繋がり、仕事のやり甲斐を感じ実感しています。これからはもっと自分が成長できるよう、仕事に励み、様々なことに挑戦し続けていきたいと思います。



■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

私たちデイサービス職員は、利用される方々が安心して過ごせるよう、環境づくりや関わり方を常に見直しながら支援に取り組んでまいります。また、これまでの歴史、諸先輩方が培った経験を継承し、さらに経験を積み精進して参りたいと思います。

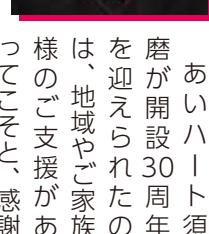


■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

30年という節目を迎えた今、これまでの歩みを振り返りながら、これから地域福祉にどう貢献していくかを考える機会にしたいと思います。これからも、日々の営みを大切にしながら、より良い支援を目指して取り組んでまいります。30年という節目を迎えた今、これまでの歩みを振り返りながら、これから地域福祉にどう貢献していくかを考える機会にしたいと思います。これからも、日々の営みを大切にしながら、より良い支援を目指して取り組んでまいります。



■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

■ 須磨デイサービスセンター 部門長 原田 浩樹

私たちデイサービス職員は、利用される方々が安心して過ごせるよう、環境づくりや関わり方を常に見直しながら支援に取り組んでまいります。また、これまでの歴史、諸先輩方が培った経験を継承し、さらに経験を積み精進して参りたいと思います。



■居宅介護支援事業所部門長  
丸島幸子



■西須磨あんしんすこやかセンター  
部門長 柏木 照子

あいハート須磨  
開設30周年を迎  
られことに心から  
感謝申し上げま  
す。私が入職して  
今年で17年目とな  
ります。この間、多くの出会いと学びを  
いただきました。これからも地域の利  
用者様一人ひとりの想いに寄り添い  
「その人らしさ」を支援できるケアマネ  
ジャーであります。これか  
らも地域の皆様とともに、あたたかい  
絆でつながる施設を目指し、ぬくもり  
のある暮らしを支えていきたいと思  
います。



■居宅介護支援事業所部門長代理 橋本 裕弥

私は介護支援専門員として、利用者様やご家族、地域の方々や事業所の皆様と連携し、その人らしく過ごすための方法を考え取り組んできました。30年の歩みの中で、以前ご縁のあったたご家族から声をかけていただくこともあります。「介護のことならあいハートへ」と思っていただけのは、先輩方が築いてこられた信頼の積み重ねだと感じます。

これからも利用者様、地域とのつながりを大切に、安心と信頼を届けられるよう励みたいです。



大道雅子



■ 廚房部門長 澤田州子

日々の食事は私たちの体を支える大切な営みですが、ほとんどは記憶に残りません。けれど、誰かと用いた食卓での笑顔や初めて味わった料理の驚き、誕生日の祝い膳など、感動の瞬間は記憶の奥に刻まれていると思いません。食事を作る側として、栄養だけではなく『心が満たされる食事』を提供できるよう、利用者一人ひとりの状態や嗜好に寄り添った献立作成をさらに工夫します。『この人に任せたい』と思ってもらえるよう、専門性と人間性の両面を磨くことで、信頼される存在になれるよう



■ 廚房管理栄養士 林枝里

■ 廚房 管理栄養士 林 枝里

今後の取り組みは、「厨房スタッフの職場環境を整える」です。厨房スタッフは、美味しいお食事を利用者様に提供するため、作業の効率化や料理の安心・安全に配慮した仕事が求められます。その為には、私たち自身が働きやすい環境を考え、日々の業務で実施し働きたいと思える職場づくりが大切だと考えます。スタッフで意見を出し合い、協力しながらより良い良いハートを磨いていきたいです。



■事務スタッフ 春井 希実子

記念イベントでは、ソーラン節担当を務めさせていただきました。日常業務で忙な職員がなんとか結束してみんなで達成感を味わいたいという思いから、あの手この手で声をかけ、練習を進めて参りました。多くの職員の協力により、本番は大声で盛り上がり、会場がひとつになれた気がします。ご来場の皆さまからたくさんの労いのお言葉もいただき、感謝しかありません。今後も仲間と協力しながら、楽しんで人を巻き込み、何事も前向きに取り組む姿勢を大切にしたいです。



## 外部メッセージ

### ■ NTT労働組合 関西総支部 執行委員長 川口 忠



30周年おめでとうござります。

日々、施設の入所者皆

さんが安心して過ごせる施設の安定的な運営にご尽力をいただいている職員皆さんに、心から敬意と感謝を申し上げます。

全電通近畿社会福祉事業団は、組合員一人ひとりの参加のもと「愛のカンパ」活動にはじまり、これまでにもNTTグループ会社や行政諸団体など、皆さんの温かい支援により、今日に至っています。

これからも、先人が創ってくれた「社会的に価値ある運動」をこれからも継承し、後援会活動のみならず、施設の夏祭りやボランティア活動などを通じて、この活動の意義をつなぐとともに、組合員の組合活動に参加をする気運を高めてまいりたいと考えています。

引き続き組合員・会員からの善意を寄せ合、施設の運営に役立てていただけるよう取り組むことをお約束申し上げ、開設30周年のお祝いのメッセージとします。

### ■ NTT労働組合 関西総支部 兵庫分会 分会長 松尾 健作



「あいハート須磨」が開設30周年を迎えられますこと心からお慶び申し上げます。また、日頃より

NTT労働組合の活動につきましてご理解とご協力を頂いていますこと、厚く御礼申し上げます。

貴施設は、地域に愛され親しまれる憩いの場として長きにわたり運営を続けて来られました。この間の歴代施設長をはじめ職員各位の献身的な心遣いと、笑顔あふれる施設運営に対しまして深甚なる敬意を表します。

事業団設立からは50数年が経ったわけですが、全電通、現在のNTT労働組合が主導となって設立をした当時の志しを一人でも多くの組合員に浸透をさせていくことが私たちの使命であり、特に全電通近畿社会福祉事業団後援会加入の取り組みについては社会貢献活動の一環と位置づけて、事業団運営への参加・参画意識の醸成に繋げて行きたいと考えます。

最後に、貴施設の益々のご発展と皆さま方の益々のご健勝のご活躍を祈念いたしまして、50周年のお祝いの言葉とさせて頂きます。

### ■ NTT労働組合退職者の会 兵庫県支部協議会 会長 山本 義之



全電通近畿社会福祉事業団の使命である「共に生き共に認め合い支えあう笑顔あふれる福祉社会をつくる」のもと1993年12月15日工事を着工し、阪神・淡路大震災を乗り越え1年3ヶ月の工事期間を経て1995年3月28日無事竣工式を終え、「あいハート須磨」設立30周年を迎えたことを心よりお祝い申し上げます。

「少子高齢化社会」・「雇用環境の変化」・「ライフスタイルの変化」等、社会構造の変化に対応していくかなければならない厳しい環境のか、施設長をはじめスタッフ一同が「あいハート須磨」の運営方針に基づき鋭意努力され日に至ったことに敬意を表します。

「あいハート須磨」が今後も安定した運営・維持のためには、地域に親しまれ、入居者・家族等に「あいハート須磨」があつてよかつた、入居してよかつた、と喜んでいただける施設であり続けるよう願っています。

NTT労組退職者の会兵庫県支部協議会は、カンパ活動(寄付金)を始めデイサービス・植栽管理等を支援するなど微力ではあります

が引き続き活動を継続してまいります。最後に、「あいハート須磨」の今後益々のご発展を祈念し、お祝いの言葉に代えさせていただきます。



## 30年の感謝を込めて

30年間にわたり事業を継続できることへの「感謝」の気持ちを伝えとともに、今後のさらなる発展に向けた激励をいただくことを目的に、2025年9月14日(日)に記念

事業を実施しました。  
職員、ご入居者・ご利用者、ご家族、地域関係者など多くの方にご参加いただきました。



▲入居者様代表のご挨拶



▲ご来賓の皆さま

## あいハート須磨記念事業イベントを開催

## 記念式典と式典後の交流



お食事中



▲ボランティアの皆さま



▲ボランティアによるたこ焼きづくり

午前11時15分からオープニングセレモニーがスタート、開会宣言は利用者代表の方にお願いしました。主賓の皆さんからご挨拶をいただき、施設長の根木より、設立から現在までの写真にナレーションを付けた「あいハート須磨30年の歩み」を

紹介し、施設の成り立ちや沿革、施設理念などを出席者で共有しました。セレモニー後には、行事食を囲んだ昼食会となり、ご利用者様、ご家族、ボランティアの皆さん、職員が交流を深め楽しい時間を過ごしました。

# 熱氣あふれる感謝祭イベント

昼食後は感謝祭イベントがスター。二十一西日本吹奏楽団による演奏で会場を盛り上げていただき、「上を向いて歩こう」などの懐かしい歌や皆さんが知つておられる歌の演奏もあって、ご利用者様も一緒に演奏に合わせて歌を口ずさまれていました。そして、もう一つのイベントである職員による演武の披露がスター。以前、あいハート須磨の夏まつりで演武していたエイサーサークルが

復活し、沖縄の伝統芸能である「エイサー」を演武しました。そして最後は、数十名にも及び職員が「よさこいソーラン」を披露し、「よさこいしょ、どうこいしょ！」と会場を大いに盛り上げてくれました。

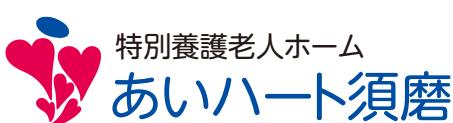
あいハート須磨、あいハート離宮前の職員が部門を超えて結集し披露した演舞は、会場全体の一体感を高めました。



おかげさまで30周年！「感謝」と「結束」を胸に



### ▲記念Tシャツで記念写真



当日は良い天気に恵まれ事故などもなく予定通りに無事終えることができました。イベントの成功は、部門を超えた職員間の交流を促進し、「結束」を強める契機となりました。

【激励】を胸に、あいハート須磨は  
今後も職員一同、力を合わせ、より  
一層のサービス向上に努めてまい  
ります。

ご参加いただいたご来賓、ご利  
用者様、ご家族、ボランティアの皆  
様、地域の皆様、そして職員の皆様  
に、心より感謝申し上げます。

# 第4回法人内事例発表会の開催報告

2025年10月19日(日)、コミュニティプラザ大阪3階にて「第4回法人内事例発表会」を開催いたしました。

今年度は、愛の家から3チーム(きぼう・かがやき・工房みさき)、あいハート須磨から4チーム(特養・デイサービス・居宅介護支援事業所・あんしんすこやかセンター)、あいハート離宮前から1チームの計8チームが、日々の業務改善やサービス向上に向けた取り組みの優良事例を発表しました。

今回で4回目の開催となり、各チームの発表内容はますます充実。プレゼン資料の構成や話し方、データの活用など、年々スキルが向上していることを実感できる発表会となりました。特に今年は、事例の背景や課題に対する深い分析と、現場での工夫・成果が丁寧に語られ、聴講者の共感を呼ぶ場面も多く見られました。

当日は、審査員である役員・評議員をはじめ、職員や傍聴者など総勢39名が参加し、盛大に開催されました。

発表終了後には表彰式を行い、以下の部門が受賞されました。



▲第4回事例発表会

## 《受賞結果》

### 第1位 最優秀賞 愛の家 きぼう部門

演題 伝わらないしんどさ ~思いをつなぐ架け橋づくり~

### 第2位 優秀賞 あいハート須磨 デイサービス部門

演題 座ることの大切さ ~シーティング介入を通して~

### 第3位 努力賞 あいハート須磨 特養部門

演題 わたしもあいハートの一員です。



▲最優秀賞 きぼう部門



閉会後には懇親会を実施し、部門・施設を超えた活発な意見交換が行われました。

職員にとって他部門の取り組みを知る良い機会となり、交流を深めることで、法人としての一体感を一層強めることができました。

今後も発表会を通して得た気づきや刺激を業務に取り入れ、更なる業務改善やサービスの向上に繋げていきたいと思います。

◀全体写真

## ご支援をくださった方々

### 《9月》

#### 後援会費

NTT労働組合ドコモグループ本部  
ドコモビジネス関西分会 様

#### 寄付金

NTT労働組合退職者の会 大阪支部協議会 様

#### 寄付金(あいハート須磨30周年記念お祝い金)

あいハート須磨ユニオン 様

NTT労働組合関西総支部会 様

NTT労働組合関西総支部兵庫分会 様

NTT労働組合  
退職者の会兵庫支部協議会 様

特定非営利活動法人  
福祉ネットワーク西須磨だんらん 様

荒木 温子 様

畠野 守会 様

(計9件)

### 《10月》

#### 寄付金

赤本 忠司 様

石井 良子 様

小野クリニック 小野 一広 様

梶本 幸治 様

小河 房江 様

(計5件)

## 「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等どのようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 ..... 072-494-0123
- あいハート須磨 ..... 078-737-2525
- あいハート離宮前 ..... 078-731-2130
- 法人本部 ..... 06-6458-5723

#### 【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73

TEL 06-6458-5723

Website <https://www.zendentu-kinki.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>

E-mail [jigyodan@silver.ocn.ne.jp](mailto:jigyodan@silver.ocn.ne.jp)

#### 【発行人】

理事長 橋本 寿樹

